

2013（平成 25）年度
ケアハウス事業報告書

1.全体状況

社会福祉法人博朋会が設置するケアハウスビハーラ今泉は、社会福祉サービスを必要とする方が心身ともに健やかに生活され、社会・経済・文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を創出し、その環境、年齢及び心身の状況に応じて、一人一人に寄り添った真心のケアサービスを提供することを目的としている。

2013（平成 25）年度は、機能訓練を充実させたいという目標を持っていました。機能訓練指導員や理学療法士による機能訓練は、特定施設入居者にとっては良い刺激となり、立ち上がり、歩行等の成果が出てきています。ケアハウスの方々も機能訓練室には興味を持たれている様子で、今後のレクリエーション計画の参考にしていきたいと思う。

全体的に入居者の身体能力が低下している為、特定施設・ケアハウス・厨房・事務所等の職種にとらわれず、職員が全員で見守りをするを続けていきたいと思ひます。

運営に関しては、入居待機者を増やし、空室状態を最小限にする為に、営業活動を開始しました。ビハーラ今泉の認知度を再確認し、今後の広報活動に生かし、収益の増加に繋げていきたいと思ひます。

2.入居状況

①入居数統計（3/1 現在）

1) 階別入居者数

24/26 名（92%）

特定		3階	4階	5階	6階	計
入居者数		5	6	6	6	24
男女比	男	1	1	3	4	9
	女	4	5	3	3	15

32/32 名（100%）

ケアハウス		7階	8階	9階	10階	計
入居者数		8	8	8	8	32
男女比	男	2	2	1	3	8
	女	6	6	7	5	24

2) 年齢別

	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上	計
男性	0	1	0	3	2	3	8	17
女性	0	1	1	6	6	13	12	39
計	0	2	1	9	8	16	20	56

(歳)

	最低年齢	最高年齢
男性	66	95
女性	66	96

②月別入居者数（各月末 統計）

	特定		ケアハウス	
	入居者数（人）	入居率（%）	入居者数（人）	入居率（%）
4月	25	96	32	100
5月	26	100	32	100
6月	26	100	32	100
7月	25	96	32	100
8月	26	100	32	100
9月	26	100	31	96
10月	26	100	31	96
11月	26	100	32	100
12月	25	96	32	100
1月	25	96	32	100
2月	25	96	32	100
3月	24	92	32	100
平均	25.4	97.6	31.8	99.3

③介護サービス利用状況（3/1 現在）

1) ケアハウス入居者の要介護度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
対象者数(人)	15	1	2	0	0	0	0	18
入居者比(%)	46.8	3.1	6.2	0	0	0	0	56.2

2) 特定施設入居者の要介護度（予防含む）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
対象者数(人)	1	1	6	11	1	3	1	24
入居者比(%)	4	4	25	45	4	12	4	100

3) 利用サービス（ケアハウスのみ、複数利用あり）

	利用者数(人)
居宅介護支援	16
訪問介護	14
デイサービス	5
デイケア	1
福祉用具レンタル	4
福祉用具購入	0
住宅改修	0
合計	40

④事務費階層別（3/1 現在）

	事務費	人数(人)ケア	事務費	人数(人)特定
1'	7,000 円	0	7,000 円	6
1	10,000 円	12	10,000 円	8
2	13,000 円	0	13,000 円	3
3	16,000 円	0	16,000 円	2
4	19,000 円	2	19,000 円	0
5	22,000 円	1	22,000 円	0
6	25,000 円	2	25,000 円	0
7	30,000 円	2	30,000 円	0
8	35,000 円	2	33,400 円	0
9	40,000 円	2	〃	1
10	45,000 円	4	〃	2
11	50,000 円	1	〃	1
12	57,000 円	1	〃	0
13	62,000 円	0	〃	0
14	62,500 円	3	〃	1
合計		32		24

3.事業報告

①入居者が気持ち良く安らかに生活していただけるよう、環境を整える。

・ 衛生・清潔

食堂・浴室・トイレは、毎日清掃し、厨房や食堂は業者による害虫駆除を引き続き行った。

レジオネラ対策としては、循環風呂の水抜きと浴槽内の清掃を週 1 回行い、残留塩素の測定をし、塩素濃度を一定に保つようにした。又、配管洗浄作業も行った。

- ・点検

入居者に安全にご利用していただく為に、巡回時や清掃時に破損故障箇所がないか点検を行い、エレベーターや消防設備等は業者による定期的な点検を行った。

特に、エレベーターには遠隔監視を導入し、24時間遠隔で、エレベーターの安全管理ができるようになった。

②入居者の体調・精神面の変化に留意し、健康で安全な生活をして頂ける様に努める。

ケアハウス入居者へは、引き続き食事時の食堂での見守りを通し、体調や心理面での不安などを伺う様にしている。必要に応じ、居室への訪問・巡回を行い、様子の確認や話を傾聴していくように心がけている。

特定施設入居者へは、入浴前に看護師によるバイタル測定を行い健康管理に配慮している。又、歯科医による往診があり、歯科衛生士による口腔衛生に努めている。介護職員は日により状態が変化される入居者と深くかかわり、看護職員と協力のもと、入居者の状態変化など早期発見に努めた。

その他、受診介助が必要な方に対しては受診同行を行い、主治医やご家族、介護サービス事業所、居宅介護支援事業所との連携を図っている。

③入居者に満足していただける食事を提供する。

- ・栄養管理

食事基準を作成し、入居者の摂食状態や病状等の特性を個別に把握し、食事を提供している。食事が入居者の健康維持や増進の支援となるよう心がけている。

- ・献立作成

献立は季節のもの、旬のもの、行事食を取り入れマンネリ化せず変化に富んだものにしていく。行事食には手作りのメッセージカードをつけていく。

平成 25 年度行事食一覧

月	行事食
4月	花まつり膳、花見弁当
5月	憲法記念日、端午の節句
7月	七夕
8月	お盆
9月	敬老の日、秋分の日、十五夜
10月	バーベキュー、秋の行楽弁当
11月	文化の日、勤労感謝の日、バイキング
12月	主食選択メニュー、クリスマス、大晦日、冬至
1月	お正月祝膳、七草粥、鏡開き
2月	節分、建国記念日、バレンタイン
3月	ひなまつり、春分の日

- ・食事提供状況

入居者の身体状況、生活習慣、治療状況に合わせた調理形態（一口大、きざみ、ミキサーやゼリーなど）をとっている。病状の考慮や、嗜好等の対応も実施している。服薬に伴う禁止食品の対応も行っている。また、選択メニュー制度を取り入れ、入所者に食事を選んでいただけるようにしている。

- ・入居者の意見の反映

入居者の意見が食事内容に反映されるようアンケート形式で嗜好調査を行っている。食事意見箱も設置しいつでも意見を出していただける状態にしている。これらの食事評価は改善の取り組みや、よりよい食事の提供に繋がるように力を入れている。

- ・衛生管理

厨房内の衛生管理に関してはチェック表を作成し、実行している。衛生管理に関する研修会にも積極的に参加し衛生管理の徹底に努めている。

- ・料理レクリエーション

食を通じて、日常生活に変化をもつていただくために、秋にはバーベキューやバイキングを行い、10月から毎月クッキングを行った。

- ・介護スタッフとの連携

給食会議を行い業務の改善や満足度の向上に努めている。

④入居者が快適に生活していただけるよう、各種サービスを提供していく。

- ・移動美容室・各種売店・買い物代行

以上の項目について、サービスを手配している。特に移動売店は、月に4回機能訓練室で行っていたが、1階フロアで開くようにし、皆様に好評で特定施設入居者だけでなくケアハウス入居者の方も多く利用されるようになった。

⑤楽しい余暇を送っていただけるよう、クラブ活動を充実させる。

クラブ名	実施曜日	実施内容	参加人員
謡曲教室	月 2回 20:00~20:30	楽しみながら謡曲を学ぶ	5名程度
カラオケ教室	第1,第2月曜 13:30~14:30	カラオケ機を使って参加者そろって歌う。	15~20名程度

⑥四季折々の行事を開催し、入居者の方に季節感を味わって頂く。

2013（平成25）年度行事

	行事名	実施日程	内容
4月	花祭り	4 / 8	まぐる膳の昼食・甘茶
5月	どんたく 菖蒲湯	5 / 6 5 / 4・5・6	どんたく隊来所 館内パレード 浴室に花ショウブを飾る
6月	外出行事（ケア） 九大生との交流会 外出行事（特定）	6 / 1 2 6 / 2 9 6 / 1 ~	ジャンボタクシーで太宰府へ 天拝の郷で昼食 大学生と入居者の交流 カフェへ

7月	七夕祭り	7 / 8	短冊に願いを書いて笹に飾る。 アイスクリームをメインに茶話会
	子供神輿	7 / 30	地域の子供神輿来所
8月	大濠花火大会	8 / 1	屋上で花火鑑賞 法泉寺境内・ビハーラ駐車場を使い開催
	夏まつり	8 / 4	福引、出店でお祭り気分を味わう。 カラオケ大会・和太鼓の演奏など。
9月	敬老会	9 / 8	敬老のお祝いをする。マジックショー
	クッキング教室	9 / 24	ホットケーキ作り
10月	バーベキュー大会	10 / 16	台風のため、2階食堂で開催
	クッキング教室	10 / 22	たこ焼き作り
	ハロウィンパレード	10 / 26	中央児童館より仮装した児童来所
	レク大会	10 / 28	職員と入居者でレク大会参加
11月	開設記念行事	11 / 11	法泉寺ご住職による法話
	外出行事（ケア）	11 / 14	天ヶ瀬温泉 湯布院の森号乗車
	作品展	11 / 16	入居者とスタッフで作品作成し、見学する
	クッキング教室	11 / 28	蒸しパン作り
12月	忘年会・餅つき	12 / 16	つきたての餅を食べ、鏡餅を作る
	クッキング教室	12 / 18	クッキー作り
	ゆず湯	12 / 20～22	浴槽にゆずを浮かべる
	外出行事（特定）	12 / 1～	夢タウンでお買い物、博物館、オートレース
1月	元旦	1 / 1	お屠蘇で乾杯
	新年会	1 / 15	お好み焼きパーティー
2月	節分	2 / 3	スタッフが鬼役で豆まき
	クッキング教室	2 / 17	フレンチトースト作り
3月	ひな祭り	3 / 5	雛飾りと桃の花を觀賞しながらのお茶会
	演奏会	3 / 14	ハッピー・スマイルプロジェクトによる歌とダンスとピアノ
	クッキング教室	3 / 19	餅ピザ作り
	花見	3 / 29	ビハーラ駐車場にて

開設して九年目を向かえ、単純な生活にならないよう、ビハーラでの日々が楽しいものになるよう、日本の伝統行事を中心に、どんたくの様な博多ならではの行事も交え、毎月の行事を計画し、特定施設とケアハウスの入居者の身体状況に差がある為、外出を伴う行事は分けて行い、一緒に出来る行事は入居者も職員も一緒に楽しめた。

ケアハウスは温泉とグルメを期待される入居者が多く、春は太宰府の天拝の郷で昼食、周辺の桜見、秋は湯布院の森号に乗り、天ヶ瀬温泉へ。瀬音・湯音の宿、浮羽での入浴と昼食、観光を堪能されました。

特定施設は春先に、境内で桜を見ながらの昼食と甘酒を味わい、クリスマスシーズンは都市型の特徴を生かし、警固公園のイルミネーション見学に出かけたり、カフェで温かい飲み物を味わい、又、入居者それぞれの希望に沿う外出を行うなど、施設内とは異なる空間でのゆったりとし

た時間を過ごしていただくことができた。

七夕、夏祭り、敬老会等は、ケアハウスと特定施設の合同で行い、両入居者間の交流をもつことができた。

地域社会との交流についても、月一回の中央保育園からの園児の訪問、5月のどんたく隊の訪問等、各機関の協力のおかげで実施でき、入居者の皆様に楽しんでいただくことができた。

⑦入居者とスタッフの「ほのぼの」とした人間関係をつくります。

・ 入居者への声かけ

入居者の要望に、迅速に対応するため、特定・ケア関わらず、積極的にスタッフから声かけを行った。また、入居者からスタッフに気軽に意見などを話されることも多くなり、今後もこのような関係を維持できるよう努める。隠れたニーズの対応のために、意見箱を玄関受付横に設置し、意見があったときは月に一回の職員会議で議題として取り上げ、回答するようにしている。早急に対応すべき要望については、その都度話し合いを行い、対処していくように心掛けている。

・ 明るい挨拶

朝晩の挨拶はもちろん、入居者の外出の際でも「いってらっしゃい」、「おかえりなさい」など全スタッフが挨拶できるように気をつけ、入居者の方が気持ちよく過ごせるように気をつけている。又、特定入居者、ケア入居者にかかわらず、スタッフ全員で見守ることができるようにしている。

職員研修状況

平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

月 日	研 修 名	参加人員
6/11	平成 25 年度第 1 回福岡県特定施設連絡会	2
6/24	平成 25 年度感染症予防研修（前期）	1
7/11	平成 25 年度福岡市介護保険事業者研修 高齢者虐待について	1
7/17	平成 25 年度福岡市介護保険事業者研修 褥瘡について	1
8/22・9/11	人権・同和問題企業事業主研修会	3
9/9	平成 25 年度第 1 回生活相談員研修	1
9/18	BPSD（行動心理症状一周辺症状）対応研修	1
9/26	給食施設従事者研修	1
10/9	接遇マナー研修	2
10/10	平成 25 年度第 1 回栄養士・調理員研修	1
10/17	平成 25 年度福岡県社会福祉大会	1
10/25・11/1・29	平成 25 年度介護支援専門員専門研修・更新研修	1
10/25・26	第 18 回九州ブロック研修大会	1
11/8	介護保険事業者のクレーム対応マニュアル	1

11/13	平成 25 年度 施設・事業所における感染症予防等講習会	1
11/16	第 13 回介護フェスタ「在宅死」の心がまえ	1
11/16	第 13 回介護フェスタ「事例から学ぶ在宅での看取り」	1
11/25	平成 25 年第 2 回事例研究発表会	1
12/6	平成 25 年度第 2 回福祉レクリエーション研修	1
12/10	平成 25 年度福岡市介護保険事業者研修 成年後見制度の実際と活用方法について	1
12/17	平成 25 年度社会福祉施設役職員研修専門研修 介護・看護職員	1
12/18・19	平成 25 年度全国老人福祉施設研究会議	1
1/9	平成 25 年度福祉サービス苦情解決従事者研修会	1
1/10	苦情解決責任者研修	1
2/13	平成 25 年度社会福祉施設等ボランティアコーディネーター研修会	1
2/17	全国老人福祉施設協議会 看取り介護実践フォーラム	2
2/25	平成 25 年度第 2 回看護職員研修	1

4. 理事会・評議員会開催状況

月 日	内 容
5/18	・ 監事監査
5/29	・ 事業報告 ・ 決算について
8/7	・ サービス付高齢者向け住宅建設計画について ・ 新事業について ・ パソコン及び介護ソフトリース契約見直しについて
2/22	・ 理事の任期満了に伴う選任について ・ 監事の任期満了に伴う選任について

5. 平成 25 年度 福祉サービスに関する苦情・相談等

・ 25 年 6 月

《スタッフの言葉使いが悪い》

→ 職員会議の議題に挙げ、話し合いをしました。慣れてくると敬語の使用が疎かになるので、言葉使いには十分気をつけるようにと職員間で周知しました。

《下の名前で呼ばないで欲しい》

→ ご夫婦で入居の為、名字ではなく、下の名前で呼ぶ事が多かったのですが、詳しくお話を伺うと、年下であるスタッフに名前で呼ばれることに抵抗があり、「お父さん、お母さん」と呼んで欲しいとの事でしたので、今後は統一していくことに致しました。

・25年8月

《各階廊下のエアコンが消されている。自分の部屋のエアコンを使うと電気代が上がる》

————→ 福岡市役所へ匿名で電話あり、福岡市役所よりビハーラへ連絡あり。

(福岡市役所へ回答)

廊下は通常誰もおらず、又、廊下のエアコンだけでは居室内は暑く、適温にならないと考えています。各居室にはエアコンがあるので、各自のエアコンをつけてもらうようにしています。又、食堂や浴室など必要とされるところには、きちんとエアコンをつけています。これを館内掲示行った上で実施いたしました。